

土木工学プログラムにおける編入生、転学部・転学科生

の単位認定に関する規則

編入生および転学部・転科生(以下、編入生)が、編入および転学部・転科前に他の高等教育機関で取得した単位は、以下の基準に従って単位認定の可否を判定する。

A. 編入前の高等教育機関の教育プログラムが JABEE 認定基準を満足している場合

1. 編入前の高等教育機関の授業科目(以下、前授業科目という)を本プログラムの授業科目(以下、現授業科目という)として単位認定する際は、シラバスに記載されている両授業科目の到達目標を個別に照らし合わせて可否を判定する。
2. 前授業科目の到達目標が現授業科目の到達目標を網羅していると判定したもののみ単位認定を認める。
3. 複数の前授業科目を組み合わせることで現授業科目の到達目標が達成される場合も、複数の前授業科目を現授業科目として単位認定することを認める。
4. 単位を認定した現授業科目の単位数は、認定した現授業科目の単位数とする。ただし、前授業科目の単位数(対応する複数の前授業科目ではそれらの合計単位数)が現授業科目の単位数に満たない場合は、本プログラム授業科目の単位を認めない。

B. 編入前の高等教育機関の教育プログラムが JABEE 認定基準を満足していない場合

1. 授業内容がシラバスなどにより判断できる場合
 - ① 本プログラムの教養科目、外国語科目、体育科目、基礎理数科目、自然科学科目としての単位認定は前項と同様に扱う。
 - ② 本プログラムの専門教育科目としての単位認定
 - a. 前授業科目を本プログラム専門科目として単位認定する際は、シラバスに記載されている両授業科目の到達目標を個別に照らし合わせて可否を判定する。
 - b. 前授業科目の到達目標が本プログラム専門科目の到達目標を網羅していると判定したもののみ単位認定の対象とする。
 - c. 複数の前授業科目を組み合わせることで現授業科目の到達目標が達成される場

合も、複数の前授業科目を現授業科目として単位認定する対象とする。

- d. 前授業科目の到達目標と本プログラム専門科目の到達目標を個別に照らし合わせた結果、曖昧な点がある場合、別途、本プログラム専門科目ごとに試験を実施し、その試験結果により可否を判定する。
- e. 前授業科目の単位数(対応する複数の前授業科目ではそれらの合計単位数)が現授業科目の単位数に満たない場合は、本プログラム授業科目の単位を認めない。

2. 授業内容がシラバスなどにより判断できない場合

前授業科目を現授業科目として単位認定することは認めない。